

学習の指針（シラバス）

流山市立東部中学校

教科	学年	週時数	使用教材
国語	2年	4時間	<教科書> 伝え合う言葉 中学国語2（教育出版） 中学書写（教育出版） <副教材> 新・基礎の学習 国語 2（新学舎） すらすら基本文法（浜島書店） 漢字マスター2（学宝社） 新国語便覧（正進社）

【学習の目標】 以下の目標を達成するために学習します

- 1 国語に対する関心を深め、進んで表現し、理解する。
- 2 目的に応じ、「筋道を立てて話す」「的確に聞き取る」「正確に読み取る」「適切に文章を書く」を実践する。
- 3 表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解の知識を身につける。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしているか。 ・古典作品をとおして特有の仮名遣いや朗読に触れ、日本古来の書写に親しみ、我が国の言語文化に学んでいるか。 ・新聞記事、図や表に記載されている情報を比較や分類し、情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っているか。 （定期テスト、小テストなど）
思考・判断・表現	・「読むこと」とおして、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしているか。 ・「書くこと」とおして伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫しているか。 ・「話すこと・聞くこと」とおして、目的や場面に応じて、異なる意見や自分の考えを伝え合っているか。 （定期テスト、作文、スピーチ、単元テスト、ワークシートなど）
主体的に学習に取り組む態度	・日々の授業で学習課題に積極的に粘り強く取り組んでいるか。 ・力を身につけるため自ら学ぼうとしているか。 （振り返り、漢字練習シート、単元テスト、漢字小テストなど）

【教科担任より】 教科を担当する先生から、学習をすすめていく上でのアドバイスです

国語は、日常生活や他の教科の学習の基盤となる教科です。国語の授業を通してたくさんの文章に触れ、新たな言葉を習得してほしいと思います。相手の思いを読み取ったり、聴き取ったりできる人、自分の思いを話したり、書いたりできる人になりましょう。誰かの答えをそのまま自分の意見にするのではなく「自分の考え」を持って授業に参加してください。間違えることが恥ずかしいことだと思わずに、一年間共に授業を創っていきましょう

<授業で用意してほしいもの>

- ・教科書 ・授業用ノート ・ワーク ・漢字マスター ・新国語便覧 ・辞書
- ・すらすら基本文法 （・書写の教科書 ・習字道具）

【年間の学習予定】 一年間の授業の進め方で変更がある場合は生徒を通して連絡いたします

期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1	4	「虹の足」 「質問する力をつける」	・詩を読み、比喻表現を捉えると共に、自分には気づかない幸福について考える。 ・解答を得るために質問し、答えを考える。
	5	「タオル」	・描写の効果や登場人物の言動の意味に注意して、作品を読み深める。
		「活用のない自立語」	・活用のない自立語（名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞）を理解する。
		「新聞の投書を書く」	・自分の意見（立場）にそって投書記事を書く。
	6	「まちがえやすい漢字」	・似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。
		「日本の花火の楽しみ」	・筆者のものの見方や考え方を捉え、「日本の花火の魅力」についてまとめる。
		「水の山 富士山」	・全体と部分との関係に着目して文章を読む。
			・富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。
	7	「短歌の味わい」	・取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む。 ・情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。 ・林間学園の思い出を短歌にして詠む。
		「敬語」	・敬語のはたらきや特徴について知る。
2	9	「漢字の成り立ち」	・漢字の成り立ちについての理解を深める。
		「話し言葉と書き言葉」	・話し言葉と書き言葉のそれぞれの特徴を捉える。
		「課題を設定して伝える」	・情報の関係を踏まえ根拠の適切さや論の展開に注意して、聞き手にわかりやすく伝える。
		「紙の建築」	・事例の役割や効果を確かめ、筆者の主張を捉える。 ・筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えをまとめる。
	10	「夏の葬列」 単元テスト (定期テスト)	・構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について自分の考えをまとめる。
		「根拠をもとに意見文を書く」	・自分の主張の根拠を示して文章を書く。
		「活用のある自立語」	・用言の活用と種類・用法を理解する。
		「敦盛の最期ー平家物語ー」	・登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。
	11	「随筆の味わいー枕草子・徒然草ー」	・言葉の響きやリズムなどに注意し、朗読する。
		「二千五百年前からのメッセージ ー孔子の言葉ー」	・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えを持つ。 ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像し、自分の考えをまとめる。 ・文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。
		「ガイアの知性」	・自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を確かめながら筆者の考えの根拠を明確にして読む。
	12	書道「書き初め」	我が国の伝統文化に親しみ、行書について学ぶ。

		「坊っちゃん」 「映像作品の表現を考える」 「漢字の多義性」 「字のない葉書」 ビブリオバトル	・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説を読む。 ・言語表現と映像表現の違いについて考える。 ・漢字の多義性についての理解を深める。 ・小説と絵本を読み比べ、それぞれの良さを知る。 ・本の魅力が伝わる構成を考え、工夫して伝える。
3	1	「学ぶ力」	・筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる。 ・文章全体と部分との関係や、例示などの効果を捉える。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。
	2	「走れメロス」 単元テスト 「付属語のいろいろ」 (定期テスト) 「類義語・対義語・多義語・同音語」	・登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えを持つ。 ・描写や人称の使い分け等に着目し、人物像や心情を表す上での役割や効果を捉える。 ・付属語にはどのようなものがあるかを知る。 ・同音の漢字についての理解を求める。
	3	「連作ショートショートを書く」 「よりよい結論を導く討論をする」 「同音の漢字」 「硬筆」	・日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。 ・表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ・同音の漢字についての理解を求める。 ・硬筆の学習として楷書、行書の練習をする。

教科	学年	週時数	使用教材	<教科書> 新しい数学（東京書籍） <副教材> 数学の学習ノート 2年（正進社） ダッシュ80（浜島書店）
数学	2年	3時間		

【学習の目標】 以下の目標を達成するために学習します

- ① 文字を用いた式と連立二元一次方程式，平面図形と数学的な推論，一次関数，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- ② 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力，数学的な推論の過程に着目し，図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，複数の集団のデータの分布に着目し，その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を身につける。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し，総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	・主に、小テスト、校内定期テストの正答率、点検表の振り返りをもとに評価する。事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題。観察や実験をさせたり、式やグラフで表現させたりする。 【評価材料】小テスト、校内定期テスト、点検表、授業ノート・様子
思考・判断・表現	・主に、小テスト、校内定期テストの正答率。加えて、テスト振り返りレポート、点検表の振り返りを通じて、理解の深化や課題の克服が図られているかをもとに評価する。そして、点検表とテストの結果を活用し、自らの学習状況を振り返り、適切に修正できるかを評価の視点とする。テスト振り返りレポートでは、解き直すことに加え、誤答の原因を分析しているかを重視する。 【評価材料】小テスト・校内定期テスト、テスト振り返りレポート、点検表、授業ノート・様子
主体的に学習に取り組む態度	・主に、点検表、テスト振り返りレポート、マイマスをもとに評価する。点検表とテストの結果を通じて、生徒自身が学習の進捗を振り返り、課題を把握し、学習の改善に向けた取り組みができているかを確認する。また、ノートの記述内容や学習の工夫、課題に対する取り組み状況の評価し、主体的に学習を深めようとする姿勢を評価の観点とする。テスト振り返りレポートでは、誤答の原因の分析をもとに、学習の改善に向けた取り組みができているかを重視し、主体的に学びを進める力の向上を評価の基準とする。 【評価材料】点検表、テスト振り返りレポート、マイマス、授業ノート・様子

【教科担任より】

教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

2年生の数学の授業では、中学校1年生で学習した数学の内容をさらに発展させ、日常生活にある数学的な疑問や問題を解決するための方法を学習していきます。今年度も、前時に学んだ学習内容の理解を図るために、授業開始前の2分間で学習を行います。家庭では、復習に力を入れた学習を行ってほしいです。授業で扱った内容、時には小学校や中学1年生の内容まで遡って復習し、より確かな力をつけてほしいと思います。その日の疑問はその日のうちに解決することを目標に頑張っていくとよいでしょう。授業では、グループ学習を多く取り入れていくので、積極的に仲間と関わり、課題を解決して行ってほしいと思います。

<授業に用意してほしいもの> ・4点セット（教科書、ノート、ワーク、ファイル）・マイマスノート

・その他（指示します）：作図セット（三角定規、コンパス）、はさみ、のり

【年間の学習予定】

月	章	時数	節	学習指導要領の 内容	教科書の ページ
4	1章 文字式を使って説明 しよう [式の計算] 15時間	8	<とびら> どんなひみつがあるのかな? 1節 式の計算	A数と式(1) ア(ア) (イ)、イ(ア)	11~22
5		6	2節 文字式の利用	A数と式(1) ア(ウ) (エ)、イ(イ)	23~31
		1	章の問題 A		32
		—	章の問題 B		33~34
6	2章 方程式を利用して問 題を解決しよう [連立方程式] 12時間	7	<とびら> 決めたシュートの本数は? 1節 連立方程式とその解き方	A数と式(2) ア(ア) (イ) (ウ)、 イ(ア)	35~48
		4	2節 連立方程式の利用	A数と式(2)イ(イ)	49~53
		1	章の問題 A		54
		—	章の問題 B p.56図 ★他教科関連(家庭) p.56図 ★他教科関連(家庭)		55~56
7	3章 関数を利用して問題 を解決しよう [1次関数] 19時間	2	<とびら> 80℃になるまでの時間は? 1節 1次関数	C関数(1) ア(ア) (イ)	57~61
		8	2節 1次関数の性質と調べ方	C関数(1)イ(ア)	62~74
		4	3節 2元1次方程式と1次関数	C関数(1) ア(ウ)	75~82
		4	4節 1次関数の利用	C関数(1) ア(イ)、イ(イ)	83~89
9		—	<数学×気象予報士>【発展】		90~91
		1	章の問題 A		92
		—	章の問題 B		93~94
		10	4章 図形の性質の調べ方 を考えよう [平行と合同] 15時間	3	<とびら> どんなことが書かれているのか な? 1節 説明のしくみ
5	2節 平行線と角			B図形(1) ア(ア)、イ(ア)	101~ 110
6	3節 合同な図形			B図形(2)	111~

月	章	時数	節	学習指導要領の内容	教科書のページ
11				ア(ア) (イ)	121
		1	章の問題 A		122
		—	章の問題 B		123～124
	5 章 図形の性質を見つけ て証明しよう [三角形と四角形]	8	<とびら> 直角にラインをひくには? 1 節 三角形	B 図形(2) イ(ア) (イ)	125～138
		12	2 節 平行四辺形	B 図形(2) イ(ア) (イ)	139～155
	21 時間	—	<数学×ロボット開発者> p.156 ★他教科関連(技術)		156～157
		1	章の問題 A		158
		—	章の問題 B		159～160
	6 章 起こりやすさをとらえ て説明しよう [確率]	6	<とびら> くじをひく順番は? 1 節 確率	D データの活用(2) ア(ア) (イ)、イ(ア)	161～172
		2	2 節 確率による説明	D データの活用 (2) イ(イ)	173～175
		1	章の問題 A		176
		—	章の問題 B		177～178
12	9 時間				
		4	<とびら> 商品の売れ行きは? 1 節 四分位範囲と箱ひげ図	D データの活用 (1) ア(ア) (イ)、イ(ア)	179～187
		—	<数学×マーケティングアナリスト>		188～189
		1	章の問題 A		190
	5 時間	—	章の問題 B p.191 田 ★他教科関連(理科)		191
		9			
	予備時間	9			
3	数学の自由研究	—	・レポートにまとめよう ・17 段目のふしぎ p.232 ★他教科関連(技術) ・食品ロスの未来を予測しよう p.233 ★他教科関連(家庭) ・アメリカホームステイ p.234 ★他教科関連(英語) ・折り紙で正多角形を作ろう ・図形の性質を見つけよう ・パスカルとフェルマーの手紙【発展】 ・点字のきまりを知ろう		229～238
105					

学習の指針（シラバス）

流山市立東部中学校

教科	学年	週時数	使用教材
英語	2 年	4 時間	〈教科書〉NEW HORIZON English Course 2（東京書籍） 〈副教材〉JOYFUL WORKBOOK 2（新学社）

【学習の目標】以下の目標を達成するために学習します。

- (1) 興味がある話題や場所について知るために、はっきりと話された日常的な話題についての会話やスピーチを聞いて、話の概要をとらえることができる。
- (2) 興味がある話題や場所について知るために、日常的な話題について簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章を読んで、話の概要をとらえることができる。
- (3) 興味がある話題や場所について知ったり紹介したりするために、その情報や気持ちなどを伝え合ったり、たずねたりすることができる。
- (4) 興味がある話題や場所について紹介するために、その情報や気持ちなどを整理して話すことができる。
- (5) 興味がある話題や場所について紹介するために、その情報や気持ちなどを整理して説明するまとまりのある文章を書くことができる。

【評価の観点と方法】通知票は以下の観点について評価し、総合的に判断して評価が出されます。

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	・表現と理解に役立てるため、単語や文法等について理解し、知識を身につけている。 【評価材料】小テスト・定期テストの語彙問題や文法問題
思考・判断・表現	・会話ややり取りの中で、即興でたずねたり答えたりできる。 【評価材料】生徒同士や ALT との会話練習・会話テスト ・自分の伝えたいことを英語で言えたり書いたりして表現できる。 【評価材料】英作文の課題・スピーチ・定期テスト ・まとまった英文を読んだり聞いたりして、感想や自分の意見を表現できる。 【評価材料】ワークシート・スピーチ・対話形式のパフォーマンステスト・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	・コミュニケーションを続けようと積極的に会話し、粘り強く学習に取り組んでいる。 【評価材料】ペア活動やグループ活動への取り組み・授業中の発表・家庭学習・パフォーマンステスト

【教科担任より】教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです。

- ・英語は言語のひとつです。間違えることを怖がらず、積極的に使うことが上達への近道です。たくさん声に出して読んだり話したり、先生やクラスの仲間たちとコミュニケーションを取りましょう。また、英語は積み重ねの教科です。学習したことを忘れないように、その日のうちに復習することが大切です。
- ・2年生で学習する内容は、1年生で学習した英語の基礎の上にあります。英語の文のしくみや文法を丁寧に理解し、単語を繰り返し練習して覚えることで、定着を図りましょう。
- ・家庭学習として、教科書を声に出して読むことや単語や文を書いてしっかり覚えることで、確実に英語力が身に付けられます。さらに、学習した表現を使って自分の言いたいことを英語で言うてみることに挑戦しましょう。

【年間の学習予定】1年間の授業の進め方です。〈変更がある場合は生徒を通して連絡いたします。〉

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
前期	4	Unit 0 My Spring Vacation	クラスメートと春休みにしたことを伝え合うことができる。 (1年生の学習事項)
	5	Unit 1 What can we experience on a trip?	旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりすることができる。 (be going to / 助動詞will / SVOO / SVOC)
	6	Unit2 What is local food?	好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。 (接続詞when / if / because / that)
	7	Unit 3 What kind of job are you interested in?	将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。 (不定詞)
	9 10	Unit 4 What is important in a homestay?	海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。 (have to / must / 動名詞)
後期	10	Unit 5	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。 (疑問詞+to / 主語+be動詞+形容詞+that)
	11	What design is good for everyone?	
	12	Unit 6 How can we make a good presentation?	身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。 (比較表現)
	1 2	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems?	世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。 (受け身)
	3	2年生のまとめ	

学習の指針（シラバス）

流山市立東部中学校

教科	学年	週時数	使用教材
理科	2年	4時間	<教科書> 未来へひろがるサイエンス2（啓林館） <副教材> 理科の自主学習2年

【学習の目標】 以下の目標を達成するために学習します

- 1 理科に対する関心を深め、進んで表現し、理解しましょう。
- 2 多くの事象や情報をもとに、現象を筋道立てて説明できるようにしましょう。
- 3 学習したことを理解し、知識を身につけ、観察・実験の結果や集めた情報を分析し、自分なりの考えをまとめられるようにしましょう。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	・自然の事物、現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方などを身に付けている。 【評価材料】 ①定期テストで知識・技能を問う問題での評価 ②小テスト ③実験の取り組み、レポート ④授業中の知識・技能に関する評価（授業で配付したプリントで評価） ⑤パフォーマンステスト
思考・判断・表現	・自然の事物、現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果から、規則性や関係性を見だして表現している。 【評価材料】 ①定期テストで思考・判断・表現を問う問題での評価 ②小テスト ③実験レポート ④授業中の思考・判断・表現に関する評価（授業での発言や配付したプリントで評価）
主体的に学習に取り組む態度	・身近な自然の事物、現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【評価材料】 ①提出物（実験レポートやノート、ワーク等） ②授業中の主体的に学習に取り組む態度に関する評価（日頃の授業態度、グループ学習での意見交換等を記録した内容） ③小テスト ①～③定期試験等の学習内容の定着度を合算し、総合的に判断して評価する

【教科担任より】 教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

理科では、自然現象について学んでいきます。偉大な科学者たちの実験から、自分の目で発見し、気づきを大切にしながら学習を行います。また、日常生活に何気なく使われている科学的な原理に気づいたりすることで、理科の面白さを体験してもらいたいという思いで授業を実施します。授業の観察で多くのことに気づいていくことが、発言につながります。観察では真剣に取り組んでももらいたいと思います。また、実験では危険な部分もあります。先生方の注意をよく聞き、安全を大事にしていきたいと思います。また、実験では4人組で行っています。その中で相談したり、考えを深め合ったりすることが、実はとても大切です。仲間の意見によって、気づかされることが多く、授業の理解に役立ちます。メモを取るなどをして自分の考えを深めていってほしいです。

授業のノートはテスト前などに見直したとき、どんなことを学習したのかがわかるように、丁寧にとりましょう。問題集は、区切りのいいところで少しずつやっておくとよいでしょう。特にワークで学習する時に、答えを写すのではなく、間違えたところを、ノートに何度も繰り返すことが学習だと指導しています。

<毎日の授業で用意するもの>

- ①教科書 ②ノート（A4サイズ） ③ワーク（本誌、解答、ワーク用ノート、作図計算ドリル） ④のり

【年間の学習予定】

一年間の授業の進め方です<変更がある場合は生徒を通して連絡いたします>

期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
前期	4	単元導入学ぶ前にトライ！ 1章 物質の成り立ち	・化学変化について理解しよう。 ・化学変化を化学反応式で表せるようになるう。
	5	2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化	・酸素と結びつく化学変化や酸素を奪う化学変化を理解しよう。 ・化学変化に熱エネルギーの出入りがともなうことを理解しよう。
		4章 化学変化と物質の質量 力だめし、学んだ後にリトライ！	・化学変化の前後における、物質の質量のちがいを理解しよう。 ・質量保存の法則について理解しよう。
	6	二酸化炭素を資源に変える人工光合成	・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質のつくりや化学変化のようすを見いだそう。
	7	単元導入学ぶ前にトライ！ 1章 地球をとり巻く大気のようなう	・気象観測の記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだそう。
		2章 空気中の水の変化	・大気圧について理解しよう。
	9	3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	・高気圧や低気圧のつくりと気象観測などのデータや天気図から、等圧線と地上付近の風の向きや強さについて理解しよう。
	10	力だめし、学んだ後にリトライ！ さまざまな気象観測の方法の開発とくふう	・大気中の水蒸気が凝結する現象は、気温・湿度と深く関わっていること、また露点の意味を理解しよう。 ・低気圧や高気圧のつくりと、前線の通過による天気の変化を理解しよう。 ・気団と関連付けて、日本の四季の天気の変化を理解しよう。 ・気象観測の結果などに基づいて、天気の変化を予想しよう、また、実際の天気予報がどのようにつくられているか知ろう。
後期	10	単元導入学ぶ前にトライ！ 1章 生物の体をつくるもの	・植物と動物の細胞のつくりを理解しよう。 ・植物の葉、茎、根のつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきを関連付けて理解しよう。
	11	2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ 力だめし、学んだ後にリトライ！	・消化器官の役割や養分の消化・吸収のしくみ、そのゆくえについてまた血液の循環やその成分とはたらき、肺・腎臓・肝臓の機能を理解しよう。
	12	植物とわたしたちを支える細胞壁	・脊椎動物の体のつくりと無脊椎動物の体のつくりを比べて、無脊椎動物の体のつくりを知るとともに、無脊椎動物の体のはたらきを類推し、生きるためのしくみについて考えよう。
	1	単元導入学ぶ前にトライ！ 1章 電流の性質	・直列回路、並列回路の電流の流れ方を理解し、回路図を書くことができるようになるう。電流、電圧、抵抗の関係を理解しよう。
	2	2章 電流の正体 3章 電流と磁界 力だめし、学んだ後にリトライ！	・電気の量の表し方を知り、電力と発生する熱や光の関係を知らう。
	3	最先端の科学技術を支える超伝導	・静電気と電流の関係を見いだそう。 ・放射線の性質や利用について理解しよう。 ・豆電球の明るさが電力に関係することを見いだそう。

教科	学年	週時数		
社会	2年	3時間	使用教材	<教科書>東京書籍「新しい社会地理」 「新しい社会歴史」 地図帳帝国書院「中学生社会科地図」 <副教材> よくわかる社会の学習（地理） よくわかる社会の学習（歴史）

【学習の目標】

以下の目標を達成するために学習します

「地理的分野」

- 1 世界の諸地域の学習を通じて、自然環境に応じた人々の暮らしぶりやその変化をつかむ。
- 2 日本のすがたを時差、領域などからとらえ、地域学習の基礎的技能を身につける。
- 3 日本の諸地域の学習を通じて、日本の地方の特色を理解する。

「歴史的分野」

- 1 わが国の歴史の大きな流れ（近世から近代日本まで）を理解し、各時代の特色を理解する。
- 2 時代や歴史の流れの節目にあたる大きな出来事の意味や重みをつかむ。（ヨーロッパ世界とのつながり、戦国史、江戸幕府、鎖国、開国、ヨーロッパによるアジア侵略）

【評価の観点と方法】

通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	課題を解決するために必要となる基本的な知識や、資料を活用する技能が身につけているか。主にテストが評価の対象となる。 グラフや図など資料から読み取る力（主に定期テスト、単元テスト） 【評価材料】定期テスト、単元テスト
思考・判断・表現	自分で考えたことを発表したり、言葉や文章で表現したりする力。授業や定期テストで学習事項を言葉や文章でまとめ上げる力。主にテストが評価の対象となる。 授業中に調べた内容をまとめ、文章で表現する力（授業プリント） 【評価材料】定期テスト、単元テスト、レポート
主体的に学習に取り組む態度	各単元の学習課題やテーマについて、その課題を理解し、解決するために主体的に学習しようとする態度。主に授業の様子、家庭学習の取り組みが評価の対象。 授業中の挙手・発表、授業の参加態度、課題への取り組みの姿勢 【評価材料】自学（ワーク）ノート、授業プリントの取り組み・振り返り など

【教科担任より】

教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

2年生の地理では、1年生の頃に学習した世界地理の内容を活かして日本地理の学習に入ります。世界の各州の特徴を理解した上で、日本の姿や日本の地域が世界と比べるとどのように違うのかを感じられるといいと思います。日本の各地方の学習ではその地方の特色はどのようにして作られ、守られてきたのかを理解することができるといいと思います。歴史分野では最初にヨーロッパのことを学習します。これまでの歴史と違うところは、日本と外国とのつながりが今まで以上に密接になることです。日本が外国からどのような影響を受けて、どのように変化したのかを考えましょう。歴史の中でも人気のある戦国時代や江戸時代の学習となります。授業の内容だけでなく、日々の生活の中にも、この時代のことが多く残されていたり紹介されたりしています。長い江戸時代が終わり、今の日本につながる新しい日本が作られるところまでが2年生の学習内容となります。社会を学習大切なキーワードは、「なぜ・どうして？」という主体的に考察する力です。授業中、分からなかったこと、気になったことは自分で調べたり、仲間へ聞いたり、わからないときは遠慮せず先生に聞いてください。将来必要な様々な見方や考え方をたくさん獲得していこう。

【年間の学習予定】 一年間の授業の進め方です。〈変更がある場合は生徒を通じて連絡いたします〉

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
1	4	地理的分野42時間 ○日本の様々な地域 〈地域調査の手法〉 ・野外観察、聞き取り ・資料活用	*様々な視野から調査の手法を学び、これからの学習で活用できるようになる。 *野外観察・聞き取り・資料活用の技能を見につけよう。	
	5	〈日本の地域的特色と地域区分〉 ・地形からみた日本の特色 ・気候からみた日本の特色 ・自然災害への対策	*日本の位置・形・大きさ・広がり、更に地形や気候の特色と自然災害について説明できるようになる。 *日本の山河、平野、海岸の特色を説明できるようになる。 *地域による気候の違いとその理由をつかもう。	
	6	・人口からみた日本の特色 ・資源からみた日本の特色 ・産業からみた日本の特色 ・交通・通信からみた日本の特色	*世界と日本の人口についての特色を説明できるようになる。 *世界と日本の資源・エネルギーに関する特色を理解し、今後どのように取り組んでいけばよいか説明できるようになる。 *日本の産業の特色について説明できるようになる。 *世界と日本がどう結びついているのか理解し、日本の交通に関する課題について説明できるようになる。	
	7	歴史的分野20時間 〈近世の日本〉 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と対外政策	*ヨーロッパ世界が日本へ来航する過程・影響をまとめよう。 *織豊政権の成立によって、百姓が武士に統一されるようになった日本のすがたを理解しよう。 *江戸幕府の成立と社会の仕組みをまとめよう。	
	2	9	・産業の発達と幕府政治の動き	*江戸時代にどのような産業が発達し、幕府の政治がどのように変化したのか理解しよう。
	10	〈日本の諸地域〉 ・九州地方 ・中国・四国地方	*それぞれの地域に応じた学習 *環境問題や環境保全の視点から、九州をとらえよう。 *人口や都市・村落から、中国・四国をとらえよう。	
	11	・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方	*伝統的な文化や生活から、近畿をとらえよう。 *産業から、中部をとらえよう。 *他地域との結びつきから、関東をとらえよう。 *生活・文化から、東北をとらえよう。	
3	12	・北海道地方 〈地域の在り方〉 〈開国と近代日本の歩み〉 ・欧米における近代化の進展	*自然環境から、北海道をとらえよう。 *テーマを決めて調査計画をたてよう。 *アジア諸国で最初の近代化を成し遂げ、近代的な立憲制国家になった日本の様子に着目しよう。 *欧米諸国が世界に先駆けて発展していった様子を捉えよう。	
	2	・欧米の進出と日本の開国 ・明治維新	*欧米諸国によるアジア進出と侵略を中心に、日本の開国に与えた影響を考えよう。	
	3		*欧米諸国から影響された日本の近代化をとらえよう。 *世界と対等に渡り合おうとする、日本の急速な発展をとらえよう。	

学習の指針（シラバス）

流山市立東部中学校

教科	学年	週時数		
音楽	2 学年	1 時間	使用教材	<教科書> 中学生の音楽 2・3 上下（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） <副教材> コーラスフェスティバル

【学習の目標】 以下の目標を達成するために学習します

- 1 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
- 2 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 3 主体的・協働的に表現や鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。 以上を、練習中の様子や発表内容、鑑賞態度、実技テスト、ワークシートに記入されている内容により評価します。
思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連に気づき、それらが生み出す特徴や雰囲気を感じ取りながら、気づいたことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。 ・考えたことを元に、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。 以上を、練習中の様子や発表内容、グループワークでの様子、鑑賞態度、ワークシートに記入されている内容により評価します。
主体的に学習に取り組む態度	・表現や鑑賞などの音楽活動に関心をもち、楽しみながら、主体的・協働的に学習内容に取り組んでいる。 ・授業に主体的に取り組み、日々の反省を自分の表現や鑑賞に生かそうとしている。 以上を、練習中の様子や発表態度、グループワークでの様子、鑑賞態度、実技テスト、振り返りプリントに記入されている内容により評価します。

【教科担任より】 教科を担当する先生から、学習を進めていくうえでのアドバイスです

どんな音がするか？どんなリズムなのか？など、その音楽を形づくっている要素や特徴に気づき、それらがどのような雰囲気やイメージを表しているのかを感じ取りながら、気づいたこと・感じ取ったことを歌や器楽による演奏、鑑賞では文章などで表現することが主な活動です。音や音楽にしっかりと耳を傾け、自分なりのイメージや思いをもつことが大切です。また、他者と様々な考えを共有しながら、感性を磨いていきましょう。

【年間の学習予定】 一年間の授業の進め方です。〈変更がある場合は生徒を通して連絡いたします〉

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
前	4	歌唱「花の街」	曲想と歌詞の結び付きに注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。
	5	歌唱「混声合唱」	混声合唱の豊かな響きを追求し、合唱の生み出す良さを味わう。
	6	楽典学習	楽譜の読み方など、楽譜の基礎的な知識を学ぶ。
	7	鑑賞「オペラ」 「歌舞伎」	音楽の特徴や魅力について舞台芸術との関わりを理解しながら味わう。
	9 10	歌唱「混声合唱」	声部の役割や関わりを理解して、全体の響きを感じながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。
後	11	鑑賞「フーガ短調」	楽器の音色や楽曲の構造を理解し、生み出される良さを感じ取る。
	12	メロディー創作	タブレット端末を用いて、音を意図的につなぎ合わせてメロディーを作り上げる。
	1	鑑賞「ボレロ」 歌唱「荒城の月」	オーケストラの多様な楽器の響きや、それらが組み合わせられて生まれる良さを感じ取る。 歌詞の意味と旋律との関係を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。
	2	歌唱「卒業行事に向けた合	3年生に感謝の気持ちが合唱で伝えられるように、表現力を伸ばす。
	3	唱づくり」	進級に向けて、よりよい合唱をつくる。

学習の指針（シラバス）

流山市立東部中学校

教科	学年	週時数	使用教材
美術	2 学年	1 時間	<教科書> 美術 2・3（開隆堂） <副教材> レタリング字典（秀学社）

【学習の目標】

以下の目標を達成するために学習します

- 1 絵画・デザイン・工芸等の様々な表現技法を身につける。鑑賞の基礎・基本を学ぶ。
- 2 見通しを持ちながら試行錯誤して創作し、今までに培った思考力や表現力を伸ばしていく取り組みができるようにする。
- 3 能動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、美術活動の楽しさを体験することを通して、美術文化に親しむとともに、美術によって生活を豊かなものにしていく態度を養う。

【評価の観点と方法】

通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識及び技能	・ 学習課題を理解して、計画的に作品を仕上げる技能 ・ 形を表す技能 ・ 配色を工夫し、着彩を行う技能 ・ 細部まで丁寧に作業を進める技術 【評価材料】・作品・制作工程・ワークシート
思考力、判断力、表現力	・ アイデアスケッチ等の発想力 ・ 作品の独創性 ・ 作品を客観的に見つめ伝える表現力 【評価材料】・作品・制作工程・ワークシート・振り返りシート
主体的に学習に取り組む態度	・ 道具や材料の準備 ・ 授業に取り組む態度 ・ 作品のレポートによる、表現の意図や工夫した点についての記述。 【評価材料】・作品・制作工程・ワークシート・振り返りシート

【教科担任より】

教科を担当する先生から、学習を進めていくうえでのアドバイスです

どんな技法があるのか、どんな表現が伝えるのに適しているのか、調べ試してみながら楽しんで美術の授業をすすめていきましょう。美術の時間は、自分の時間でもあります。級友にとっても自分を理解し、自分を深める大切な時間です。時には他者と様々な意見や情報を交換したり、時には一人で突き詰めて作品と向き合ったり、有意義にその時間を過ごしてください。

【年間の学習予定】

一年間の授業の進め方です<変更がある場合は生徒を通して連絡いたします>

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	オリエンテーション	・ 2年生で取り組む学習内容について理解しよう。 ・ 1年生とは異なる学習内容や取り組む姿勢を理解しよう。
		「手のデッサン」 「文字をデザインする」 ・ 明朝体	・ 鉛筆の使い方を意識しよう。 ・ ものを正確に見て描く技を身につけていく。 ・ 明暗・質感・形のとらえ方を意識し描いていく。 ・ レタリングの役割を理解しよう。 ・ レタリングに取り組む「明朝体を描く」ことで文字の構造を学ぶ。 ・ 役割にあった文字をデザインすることができるようになろう。 ・ レタリングの活用方法を理解しよう。 ・ 学級環境物づくりレタリングの技術を活かそう。
2 学 期	5	「ポスターの作成」	・ 伝えたい内容を考えし、効果を考えてポスターを制作しよう。
	6	・ 実際のポスターの鑑賞	・ 着彩の方法や配色を考えてポスターを作成しよう。 ・ 配色カードを活用し、色の三要素をポスターに生かそう。
	7	「身近な風景」	・ 一点透視、二点透視、色の見え方、陰影、形のとり方等を学ぶ。
	9	・ 校舎や校庭を描く	・ 透視図法を応用すると共に、空気遠近法や色の性質を理解し、構図に生かすことを学ぶ。
	10	・ 透視図法を活用する	・ 水彩絵の具の特性を知り、効果的に紙や用具を生かして絵が描けるようにする。
	11		・ 重色や混色など、着色の効果を考える。
	12	「鑑賞：友達絵」	・ 自分の絵の発表と、級友の絵を鑑賞し、良いところを探す。
3 学 期		「鑑賞：日本文化」	・ 日本の美術の歴史に興味を持ち、文化に対する見識を深める。
	1	「陶芸」	・ 生活の中で生きるデザインを考えよう。
	2		・ 粘土の性質を理解し、制作に生かそう。
	3	「鑑賞：陶芸作品」	・ 陶芸について学ぶ。

教科	学年	週時数	使用教材
保健体育 (男子)	2 年	3 時間	<教科書> 中学校保健体育（大日本図書） <副教材> 中学体育実技（学研）

【学習の目標】

以下の目標を達成するために学習します

- (1) 各種の運動の合理的な実践を通して主体的・対話的に課題を解決するなどにより運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高めることができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てましょう。
- (2) 各種の運動を適切に行うことによって、自分の体の変化に気づき体の調子を整えとともに、体力の向上を図り、たくましい心身を育てましょう。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度をすることができる態度を育てましょう。
個人の生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てましょう。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	○体力テストの測定方法を理解し、正確に実施し測定しようとしている。 ○現在できる技を組み合わせで連続技をつくり、演技しようとしている。 ○チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的技能や個人的技能を高めようとしている。 ○練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技の出来映えの確かめ方を知ろうとしている。 ○競技の運営やルール・審判の方法を知ろうとしている。 【評価材料】実技テスト、ドリル練習、体育ファイルの内容、ゲーム中の掛け声、作戦中の話し合い活動
思考・判断・表現	○体力測定の結果を知り、日常生活で運動の生かし方を整理しようとしている。 ○練習の進め方や場づくりの方法を選び、技の出来映えを確かめようとしている。 ○ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぼうとしている。 ○学習カードの内容や課題について考え、記入しようとしている。 【評価材料】体育ファイルの内容、ゲーム中の掛け声、作戦中の話し合い活動
主体的に学習に取り組む態度	○体力の意義と体力の高め方について主体的・対話的に取り組もうとしている。 ○主体的に学習に取り組み、練習の場を整えたり、補助し合ったりして進んで運動に取り組もうとしている。 ○ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ○学習カード（課題）を提出しようとしている。 【評価材料】体育ファイルの内容、準備片付けの態度、授業への姿勢

【教科担任より】

教科を担当する先生から、学習を進めていくうえでのアドバイスです

- ・ 体育学習のルールやマナーをしっかりと身につけ、たくましい心と体を育てられるようにしましょう。また体育は仲間と協力し共に活動する学習の場面が多い教科でもあるので、自分のことだけでなく、他の人の心と体を尊重し合いながら活動できるようにしましょう。
- ・ 授業規律をしっかりと守りましょう。また、あいさつや返事を元気に大きな声で行い、活力ある集団形成を目指しましょう。

【年間の学習予定】 一年間の授業の進め方です。〈変更がある場合は生徒を通して連絡いたします〉

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
前期	4	集団行動 体づくり運動 スポーツテスト	・ 自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って体ほぐし運動をしたり体力を高めたりすることができるようにしよう。 ・ 目的に応じた運動を合理的に行い、各種の運動を高めることができるようになろう。 ・ 各種目の体力を測定し、自己の体力を知ろう。
	5	バスケットボール	・ 基礎的、基本的なボール操作を身につけよう。 ・ ルールを理解し、速い動きや空間に走り込む動きを身につけ、ゲームを展開しよう。
	6	柔道	・ 柔道の成り立ちや特性について理解し、受け身を身につけよう。 ・ 崩す技と決める技を身につけ、相手を投げよう。
	7	水泳	・ 安全に配慮し、活動しよう。 ・ 様々な泳法を身に着けよう。
	9	創作ダンス	・ みんなで踊る楽しさや喜びを味わおう。 ・ 踊りの特徴や表現の仕方を理解し、交流や発表をしよう。
	10	陸上競技（幅跳び）	・ 安全に気をつけ、記録の向上に挑戦し、競争の楽しさを知ろう。
後期	11	器械運動	・ 安全に気をつけ、日常生活で行わない動作を行おう。 ・ 技を組み合わせ、連続技の発表会をしよう。
	12	長距離走	・ 自己の目標タイムを設定し、1500m走のタイムを上げよう。 ・ 様々なトレーニングで自己の設定タイムに挑戦しよう。
	1	卓球	・ 基本的なラケット操作とボール操作ができるようにしよう。 ・ ルールや審判の方法を理解し、ダブルスのゲームを展開しよう。
	2	サッカー	・ 基礎的、基本的な技能を身につけ、速い動きの攻め方や守り方ができるようになろう。
	3		

教科	学年	週時数	使用教材
保健体育 (女子)	2 年	3 時間	<教科書> 中学校保健体育（学研） <副教材> 中学体育実技（大日本図書）

【学習の目標】

以下の目標を達成するために学習します

- (1) 各種の運動の合理的な実践を通して主体的・対話的に課題を解決するなどにより運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高めることができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てましょう。
- (2) 各種の運動を適切に行うことによって、自分の体の変化に気づき体の調子を整えとともに、体力の向上を図り、たくましい心身を育てましょう。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度をすることができる態度を育てましょう。
個人の生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てましょう。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	○体力テストの測定方法を理解し、正確に実施し測定しようとしている。 ○現在できる技を組み合わせで連続技をつくり、演技しようとしている。 ○チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的技能や個人的技能を高めようとしている。 ○練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技の出来映えの確かめ方を知ろうとしている。 ○競技の運営やルール・審判の方法を知ろうとしている。 【評価材料】実技テスト、ドリル練習、体育ファイルの内容、ゲーム中の掛け声、作戦中の話し合い活動
思考・判断・表現	○体力測定の結果を知り、日常生活で運動の生かし方を整理しようとしている。 ○練習の進め方や場づくりの方法を選び、技の出来映えを確かめようとしている。 ○ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぼうとしている。 ○学習カードの内容や課題について考え、記入しようとしている。 【評価材料】体育ファイルの内容、ゲーム中の掛け声、作戦中の話し合い活動
主体的に学習に取り組む態度	○体力の意義と体力の高め方について主体的・対話的に取り組もうとしている。 ○主体的に学習に取り組み、練習の場を整えたり、補助し合ったりして進んで運動に取り組もうとしている。 ○ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ○学習カード（課題）を提出しようとしている。 【評価材料】体育ファイルの内容、準備片付けの態度、授業への姿勢

【教科担任より】

教科を担当する先生から、学習を進めていくうえでのアドバイスです

- ・体育学習のルールやマナーをしっかりとし身につけ、たくましい心と体を育てられるようにしましょう。また体育は仲間と協力し共に活動する学習の場面が多い教科でもあるので、自分のことだけでなく、他の人の心と体を尊重し合いながら活動できるようにしましょう。
- ・授業規律をしっかり守りましょう。また、あいさつや返事を元気よく大きな声で行い、活力ある集団形成を目指しましょう。

【年間の学習予定】 一年間の授業の進め方です。〈変更がある場合は生徒を通して連絡いたします〉

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
前期	4	集団行動 体づくり運動 スポーツテスト	・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って体ほぐし運動をしたり体力を高めたりすることができるようにしよう。 ・目的に応じた運動を合理的に行い、各種の運動を高めることができるようになろう。 ・各種目の体力を測定し、自己の体力を知ろう。
	5	柔道	・柔道の成り立ちや特性について理解しよう。 ・相手を抑え込む技を身につけ、攻防を展開しよう。 ・相手を崩して、投げる技を身につけよう。
	6	水泳	・安全に気を付け、様々な泳法を身に着けよう。 ・ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配れるようになろう。
	7	陸上競技（ハードル）	・安全に気をつけ、記録の向上に挑戦し、競争の楽しさを知ろう。
後期	9	創作ダンス	・みんなで踊る楽しさや喜びを味わおう ・踊りの特徴や表現の仕方を理解し、交流や発表をしよう。
	10	ハンドボール	・基礎的、基本的な技能を身につけ、速い動きの攻め方や守り方ができるようにしよう。
	11	卓球	・シングルス、ダブルスでのゲームを展開しよう。
	12	長距離走	・自己の目標タイムを設定し、1000m走のタイムを上げよう。 ・様々なトレーニングで自己の設定タイムに挑戦しよう。
	1	バレーボール	・基礎的・基本的なボール操作を身につけよう。 ・ルールや特性を理解し、ゲームを展開しよう。
	2 3	ソフトボール	・基本的なバッド操作、グローブ操作を身につけよう。 ・ルールを覚え、ゲームを展開しよう。

学習の指針（シラバス）

流山市立東部中学校

教科	学年	週時数	使用教材	<教科書>技術・家庭 家庭分野（開隆堂） <副教材>新 家庭総合資料
家 庭	2 学年	2 時間		

【学習の目標】

以下の目標を達成するために学習します

実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとする能力と実践的な態度を養う。

【評価の観点と方法】 通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身につけているか、評価します。 【評価材料】・ワークシート ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・製作中の作業内容 ・作品の内容
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけているか、評価します。 【評価材料】・ワークシート ・定期テスト ・製作中の作業内容 ・作品の内容 ・プレゼンテーション等での発表
主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしているか、評価します。 【評価材料】・ワークシート ・作品の内容

【教科担任より】

教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

家庭科の授業で大事なことは、「学習したことを自分の生活の中にかす」ということです。みなさんは、いつか独り立ちをして自分の力で生活することになります。その時に向けて学習を進めていきたいと思います。始めてやること、苦手なこともあるかもしれませんが積極的に取り組んでほしいと思います。

調理実習では、包丁や火を扱います。安全については、授業前にしっかりと確認しますが、けがのないように取り組ましましょう。分からないことは、そのままにせず質問して下さい。また、包丁の扱いになれるためにも課題を出していきますので積極的に取り組ましましょう。

【年間の学習予定】

1年間の授業の進め方です〈変更がある場合は生徒を通して連絡いたします〉

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	4 月	衣生活・住生活と自立 ・和服の文化	・身近な和服である浴衣を着装してみましょう。
		食生活と自立 ・健康と食生活 ・食品の選択と保存	・自分の食生活を振り返り、改善してみましょう。 ・食事の役割を理解し、生活習慣病になりにくい食事を理解しよう。 ・栄養素にはどのようなものがあるだろうか？ ・栄養素の種類と働きについて調べましょう。 ・食品成分表の使い方を知り、食品の栄養的な特徴を調べましょう。 ・6つの基礎食品群について理解しよう。
	5 月	・生鮮食品 ・加工食品	・どのように生鮮食品を見分ければよいのだろうか。 ・旬の特徴は何だろうか。 ・加工食品の特徴について知り、選び方を考えましょう。 ・食品添加物や食物アレルギー、遺伝子組み換え食品について考えましよう。
	6 月	・調理実習準備	・安全衛生に留意し、環境にも配慮した実習を行うために気をつけることは何だろうか。 ・調理実習の流れと手順を理解しましょう。 ・計量スプーンの使い方について理解しましょう。
	7 月	・実習 「キュウリと加工食品 のサラダ」	・包丁の使い方を理解し、様々な切りかたをしてみましょう。 ・ドレッシングを作ってみましょう。 ・根菜を使って調理をしてみましょう。
	夏 休 み	「ごまだんご」 生活の課題と実践 ・献立を作ろう	・食生活を振り返り、実際に調理してみよう。
	2 学 期	9 月	・実習 「リンゴの皮むき」 「生姜焼き」
		・実習 「いわしのかば焼き」	・魚の手開きをしてみましょう。
		・実習 「筑前煮」	・流山で作られたみりんを使って調理してみよう。 ・鶏肉を調理しよう。 ・だしの効果・役割にはどのようなものがあるのだろうか？

学習の指針（シラバス）

流山市立東部中学校

教科	学年	週時数	使用教材
技術	2 年	2 時間（半年）	<教科書> 中学校技術教科書（開隆堂） <副教材> ハンドノート・製作キット <その他> タブレットPC

【学習の目標】

以下の目標を達成するために学習します

- 1 生活や社会で利用されているエネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに
それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- 2 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- 3 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【評価の観点と方法】

通知票は以下の観点についてそれぞれ評価し、総合的に判断して評価が出されます

観 点	評 価 の 方 法
知識・技能	・ 工具を適切に使い、はんだ付け作業が正確にできているか評価します。 ・ 作品の出来上りを評価します。 ・ ソフトウェアの扱い方を理解し操作することができているか評価します。 ・ タイピングのスキルが身に付いているか評価します。 ・ エネルギーの利用方法やPCの扱い方を知り、基礎的な知識が定着しているかテストで評価します。 【評価材料】・作品（はんだ付け作業）・テスト・タイピングテスト ・デジタル作品
思考・判断・表現	・ 目的や条件に応じて作業の手順や作品作りを工夫しているか評価します。 ・ 決められた作業時間内に作品や作業を進めることができているか評価します。 ・ 作品の出来上りを評価します。 ・ ハンドノートやワークシートの内容で評価します。 【評価材料】・テスト・作品（はんだ付け作業）・ハンドノート・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・ 発表や話し合い活動に積極的に取り組み粘り強く学習に取り組もうとしているか評価します。 ・ 授業規律を守ることができているか評価します。 ・ 毎時間の学習内容を振り返りシートにまとめられているか評価します。 ・ ハンドノートやワークシートの内容を評価します。 【評価材料】・ハンドノート・ワークシート・振り返りシート・授業の取り組み

【教科担任より】

教科を担当する先生から、学習をすすめていくうえでのアドバイスです

技術科の授業では生活をより豊かにするための知識・技能の定着を目指しています。現代では欲しいものが何でもそろふことから、ものを作る機会が減ってきています。ですが、その豊かさは技術の進歩と常に隣り合わせであるということを、製作を通して感じてもらいたいと思っています。知り得た知識を最大限活用して製作実習に活かし、たとえ失敗しても諦めず、作品を丁寧に作り上げてもらいたいです。何よりも優先されることは『安全』です。どんなに上手に作品を完成させてもケガをしては元も子もありません。工具や機械の正しい使い方を習得し、「ケガをしない・させない」を合い言葉に十分注意して作業にあたるように心がけましょう。

2 (1) 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	11	【オリエンテーション】 【生活や社会とエネルギー変換の技術】 【エネルギー変換と利用】 ・燃料を利用した技術 ●電氣の利用 ・電氣機器への利用 ・電氣機器の構造 ・電氣機器の安全な利用	○学習目標や内容・方法を知る。(安全性) ○生活の中でどのようにエネルギーが利用されているかを考える。 ○エネルギー変換の技術に関する製品に込められた工夫や仕組みを調べる ○エネルギー資源を知り、原発問題をはじめエネルギーについての個々が思うことを考える。 ○燃料を利用した技術の仕組みを知る。 ○発電と送電の仕組みを知る。 ○エネルギー変換効率と省エネルギーの仕組みを知る。 ○電氣エネルギーの特徴や変換する仕組みを知る。 ○目的や条件に応じた電氣の使われ方を知る。 ○使用目的や条件に合う機能や構造を考える。 ○電氣機器による事故について考える。 ○事故を防ぐ工夫を考える。
	12	●運動の利用 ・力の伝達	○動力を伝えるための仕組みと特徴を知る。 ○動きを変化させる仕組みを理解する。
3 学 期	1	【製作】 ・はんだ付け練習 ・本題材基板の製作	○工具の使い方を知る。 ○はんだ付けの練習を行う。 ○本題材としてキットの製作をする。 ○配線完了後各自で検査し動作確認を行う
	2	・配線、組み立て ・検査、点検 ・完成 【まとめ】	○作業及び作品の自己評価を行うことで、学習のまとめをする。 生活の中で情報機器がどのように活用されているかを考える
	3	情報に関する技術 【生活や社会と情報の技術】 コンピュータの基本操作 【まとめ】	○パソコンを使い、ワード、エクセル、パワーポイントの使い方について知る。 ・評価と反省